スマホの「困った！」を防ぐ

整理　分析　可視

最近スマホの通信障害や詐欺による悪用など、多くの問題を耳にするようになりました。

今回は、個人で防げる対策の一部を紹介しますので、スマホは便利なだけではないと知ってほしいと思います。

AndroidとiOS（iPhone）それぞれの代表的なトラブルと、公式の停止・設定手順を一覧にまとめました。



ビァード

【スマートフォンの通信妨害にご注意ください】

最近、車などに積んだ不正な装置から妨害電波を出し、周辺の端末を強制的に圏外にする事案が発生しています。犯人の目的は、通信が途絶えた端末を「現在は使われていない古い通信方式（2G）」のニセ基地局へ切り替えさせ、偽のSMSを送り付けて個人情報やカード情報を抜き取ることです。急に圏外になり不審なSMSが届いた際は、URLを絶対に開かないようご注意ください。万が一ボタンを押して情報を入力してしまった場合は、利用明細に不審な請求がないか確認し、すぐにカード会社や携帯会社、警察の相談窓口（#9110）へ連絡してください。

【スマートフォンの「知らない間のデータ消費・料金上昇」にご注意ください】

悪意ある詐欺だけでなく、メーカーやアプリが利便性向上や品質改善のために初期設定で有効にしている通信機能によって、気づかないうちにデータ通信量（ギガ）を大量に消費し、毎月の電話・通信料金が高くなってしまうケースがあります。

- 裏側での自動通信によるデータ消費: アプリの自動更新やデータのバックアップ、サービス改善のための診断データ送信などが裏側で頻繁に行われると、使っていないつもりでも通信量が膨らみ、追加データの購入やプラン変更で料金が上がる原因になります。
- 誤作動や意図しない発信・通信: ポケットの中での誤操作や音声機能の誤反応などにより、意図せず通話が発信されたり、データ通信が走り続けたりして高額な請求につながることもあります。

「最近急にギガの減りが早い」「身に覚えのない料金が増えている」と感じた場合は、モバイルデータ通信の制限や自動更新の設定を「Wi-Fi接続時のみ」に見直すことをおすすめします。

問題の分類	Android の問題	Android の公式対策	iOS (iPhone) の問題	iOS の公式対策
勝手な文字起こし	「自動字幕起こし」の誤起動 音量ボタン付近のアイコンに触れると、再生中の音声がすべて画面に文字化されます。	Google公式：自動字幕起こしの停止手順	「ライブキャプション」の誤起動 アクセシビリティ機能がオンになると、動画や通話の音声が勝手に文字起こしされます。	Apple公式：ライブキャプションの停止方法
音声アシスタントの誤反応	Googleアシスタント / Geminiの誤起動 日常会話に反応して起動し、音声データがサーバーへ送信・保存されます。	Google公式：音声アクティビティの管理	「Siri」と「音声入力」の誤作動 「Hey Siri」の誤認識や、キーボードのマイク誤タップで周囲の会話を拾います。	Apple公式：音声入力をオフにする方法
裏側でのギガ大量消費	バックグラウンド通信・自動同期 アプリを閉じている間も、写真バックアップやアプリの自動更新が行われます。	Google公式：データセーバーの設定	「Wi-Fiアシスト」やバックグラウンド更新 Wi-Fiが弱い時に勝手にモバイル通信へ切り替わり、裏側で同期が行われます。	Apple公式：省データモード・通信の制限
診断・行動データの収集	Google・メーカーへの診断データ送信 端末の利用状況や位置情報の履歴が、サーバーへ定期送信されます。	Google公式：データとプライバシー管理	「利用頻度の高い場所」と「解析」の記録 滞在場所の履歴が常時記録され、設定次第で解析データがAppleへ送信されます。	Apple公式：位置情報サービス管理
全体のセキュリティ対策	アプリの追跡・不正通信 外部アプリによる行動追跡や、過剰なアクセス権限によるデータ抜き取り。	ドコモ：個人情報流出の対策10選	アプリの追跡・不正通信 アプリごとのトラッキング許可や権限設定による情報収集。	政府広報：スマホの情報セキュリティ

本人や本人以外の個人情報がたくさん入っています。気を付けたいですね。



2026/11 by rightworks